

# 6地域県民局で取り組む「人幸增加大作戦」

県内6地域県民局でも、地域の強みをとことん伸ばし、課題をチャンスと捉え、さまざまな取組にチャレンジしていきます。

## 東青地域の地域づくりを支援

[東青地域県民局] .....

**東青地域**では、今後とも人口減少及び高齢化が一層進むと見込まれる中で、地域の「自然・歴史・文化・食」を生かした活動に取り組み、地域づくりを牽引しようとしている団体等があり、将来に向けた地域づくり活動の継続と発展が課題となっています。

このため、地域の担い手の広域的な連携に向けた研究会やワークショップを開催し、地域づくり団体がお互いに補完し合う仕組みづくりや、効果的な情報発信等に取り組みます。



## 三八地域の「しごと」と「暮らし」を情報発信

[三八地域県民局] .....

**三八地域**では、ものづくり企業が集積していますが、就職や進学時に多くの若者が県外へ出ていくため、地元企業の人財<sup>\*</sup>確保が難しくなっています。地元就職を選択肢の一つに入れてもらうには、生徒・学生に企業の魅力や地元での暮らしやすさを伝え、理解してもらうことが大切です。

そこで、生徒・学生自らが企業の魅力や地元での暮らしやすさを調査し、若者の視点で、三八地域の「しごと」と「暮らし」をまとめ、情報発信する取組を進めます。

\*県では、「人は青森県にとっての『財』(たから)である」という基本的考え方から、「人」「人材」などを「人財」と表しています。



## 十和田湖奥入瀬地域のインバウンド誘客促進

[上北地域県民局] .....

**上北地域**では、十和田湖奥入瀬地域への外国人観光客の誘客促進を目指し、関係者が取組を進めていますが、多くの方に来ていただくための観光コンテンツの開発など誘客に向けた仕掛けづくりが課題となっています。

そこで、主に台湾人旅行客をターゲットとし、アドバイザー派遣や旅行エージェント現地視察会の実施、その後の評価分析等により、地域の観光資源を生かした新たな魅力づくりに取り組みます。

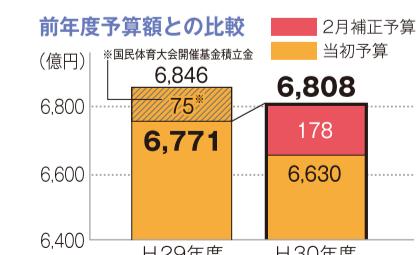


平成30年度一般会計当初予算は6,630億円(対前年度比3.2%減)  
一体編成した平成29年度2月補正予算と合わせた  
「実行」予算では、6,808億円余

「青森県行財政改革大綱」に基づく財政健全化努力を継続しつつ、最終年度を迎える「青森県基本計画未来を変える挑戦」の総仕上げに向けて、各種施策に総力を挙げて、取り組むこととしました。

一般会計の当初予算額は、基金積立金や貸付金、施設等整備費の当然減により3.2%の減となったものの、一体として編成した平成29年度2月補正予算と合わせると6,808億

円余となり、平成29年度当初予算から国民体育大会開催基金積立金(75億円)を除いて比較すると、実質的なプラス予算となっています。



## 中南津軽の「うるしの森づくり」推進

[中南地域県民局] .....

**中南地域**では、将来的に国重要無形文化財の津軽塗や神社・仏閣等の修理に使用される国産漆の安定供給が危惧されることから、漆資源の確保が課題となっています。

そこで、漆資源の現状や需給状況の情報共有等を目的とした県や弘前市、森林組合などによる連絡会議を設置するほか、優良な苗木の選抜や生産技術の確立、森林所有者向けの津軽漆体験ツアーの開催などにより漆の安定供給に向けた「うるしの森づくり」を進めます。



## ぶどう「シャインマスカット」産地づくり

[西北地域県民局] .....

**西北地域**では、上品な甘みと香りが特徴の「シャインマスカット」の栽培が徐々に増えていますが、収穫量の増加とともに管理作業の手間も増えていくことから、省力化技術の確立が必要です。

そこで、高品質を維持したまま省力化する技術を開発しマニュアルを作成するほか、米やりんごを栽培する生産者に「シャインマスカット」を導入してもらうための経営モデルを作成するなどして、産地づくりに取り組みます。



## 下北地域の魅力向上による観光滞在時間の拡大

[下北地域県民局] .....

**下北地域**では、北海道新幹線の開業後は観光客数が増加傾向にあります。宿泊者数は伸び悩んでおり、下北地域を訪れた観光客の方々に、より長く滞在していただくことが課題となっています。

そこで、体験型の観光メニューづくりなどを通じて、下北地域に多い民宿の観光利用を促すほか、接客対応マニュアルを作成するなど外国人観光客の受入環境を整備します。また、下北の魅力をPRする動画を作成して国内外への情報発信に取り組みます。

